



【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★  
0120-99-7777 (16時～21時)  
≪いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！≫

- 10月 6日(木) 日本女性会議部会
- 12日(水) パパ子育て講座(白山)
- 14日(金) 女性と子ども支援NW金沢・定例会
- 15日(土) パパ子育て講座(能美)
- 18日(火) 受け手継続研修
- 22日(土) リレほく福井大会(福井)
- 28日～30日(金～日) 日本女性会議視察(秋田)
- 11月 6日(日) 講演会「みんな子育てで孫育て」
- 12日(土) ハッピーアドバイザー研修(富山)
- 13日(日) DV啓発シンポジウム
- 15日(火) 印刷
- 16日(水) 講演(羽咋)
- 17日(木) 打合せ(長野)
- 19日(土) パパ子育て講座(野々市)
- 27日(日) オレンジリボンCP映画会
- 30日(水) 県子ども政策審議会
- 〃 りれほく石川県事務局会
- 12月 2日(金) かけがえのない命を守るNW
- 4日(日) ハッピーバースデー公演
- 8日(木) りれほく3県事務局会
- 11日(日) パパ子育て講座(小松)
- 20日(火) りれほく石川大会実行委員会
- 23日(金) 打合せ
- 25日(日) エリア会議(京都)
- 1月 14日(土) パパ子育て講座
- 28日(土) パパ子育て講座

「パパママ・ホットライン」

火・水・木・金 (10時から15時)



七尾市、能美市、金沢市の  
三か所で上映会が開催されます。

●お問合せ●

石川県オレンジリボン CP 実行委員会 TEL 076-225-1421  
七尾市健康福祉部子育て支援課 TEL 0767-53-8445

朗読劇 ハッピーバースデー



子ども夢フォーラムも後援して  
います。  
チケットは残り少ないようです。  
ご希望の方はお問合せ先まで  
急ぎご連絡ください！

少し、気が早いですが  
皆様良いお年を  
お迎えくださいますように！

～豊かな子どもの未来のために～  
〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101  
石川県金沢市法島町1-1-8  
いしかわ子ども交流センター2階  
TEL/FAX 076-214-5680  
URL <http://www.yumeforum.org>  
E-mail [kodomo@yumeforum.org](mailto:kodomo@yumeforum.org)  
郵便振替口座 00700-5-46262

〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づきすることも重要と捉え、「パパママ・ホットライン」や「パ



パ子育て講座」など、様々な活動を展開しています。同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思ひます。

# 子ども夢フォーラム

## News!

NPO(非営利任意団体)  
2016.11.15 (No.98)

【隔月発行】発行責任者：高木真理子

気温の乱高下に伴い、着る服の袖丈に一喜一憂していたのもつかの間、11月も半ばを過ぎました。木々はみるみる葉を落とし、冬支度に精をだしています。

紅葉狩りに出かけたり、落ち葉を葉にしたり、秋の味覚に舌鼓・・・いろいろな秋を楽しんでいらっやいますか。

忘年会のスケジュールがカレンダーを埋めつつあるのではないですか^^。

飲み会が重なると、つい食べ過ぎてしまいますよね。

う～ん♡ 近くの足湯や温泉にでかけて、ミニミニ小旅行に

遊ぶのも楽しそうですね。皆様は、深まる秋を

どのように堪能されていますか。

晴れ着姿の子どもに  
思わず  
「かわいい～！」



街はすっかりクリスマス仕様！  
イルミネーションが点灯し、  
店内は Xmas ソングが流れ～

～中央大学学術講演会～

講師：広岡守穂氏 (中央大学教授)

みんなて子育て孫育て  
私にできること みつけた♪

2016年11月6日(日)  
いしかわ子ども交流センター

11月6日(日)におこなった広岡守穂氏の講演会は滞りなく終了しました。広岡先生のお話のなかに出てくる各地でできたお母さんたちの「つぶやき」を、シンガーソングライターの茨木大光氏が曲をつけた歌を、途中に挟みながらすすめるというおもしろい構成の講演会でした。

実の母に対する娘の不満も多い / 息子が父親と向かいあう事の大切さ / 夫に対する不満の「つぶやき」が多い  
ちゃんと自分の人生を生きていけるように支えようと思う。

＜当日の感想から＞

- ・時代、育ちがちがえば、想いもライフスタイルもちがい、それをなんとか心通う関係にと努力していきたい。
- ・素直で正直なお人柄がこじみでお話でした。次年度の開催も期待しています。
- ・傾聴の大切さと、そのためにむきあわなければいけないことを教えていただき有難うございます。
- ・あたたかさや優しさにつつまれたひと時でした。男が気がついていないこと、しみじみと受け止めました。
- ・大切なことに気づかせていただきました。
- ・すごく楽しかったです。こういう講演会のあり方もあると思ひました。
- ・機会があれば、またぜひ参加したいです。
- ・傾聴の大切さ、気づかされました。
- ・そうさうだと思ひこといっぱいありました。

ご厚意で提供して下さった絵ことばの展示は、会場を柔らかく包み込みました。大きな和紙一枚に一篇の詩と絵が書かれたもので、絵手紙ならぬ「絵ことば」。5枚のパネルにそれぞれ掲示され、講演を待つ皆様の何よりの楽しい時間になりました。そこに書かれた詩は、広岡先生の詩集「ひとりみんな」(2016年0月に出版)に収められています。

壇上を飾ったお花は、活けてくださった方のご厚意により、終了後も会館入り口に、数日、飾らせていただきました。訪れた人の目に優しく映ったことでしょう！

盛況のうちに  
終了しました！

## 親と子のリレーションシップほくりく in ぶくい



日時：10月22日（土）10時～17時半  
会場：福井県立大学構内

気持ちの良い秋晴れの朝、明橋代表らと合流し、計4名で福井駅から越前電車に乗り換え、松岡駅というところで下車。タクシーを待つこと5分。途中のコンビニで昼食も買い、9時ちょうどに会場に到着！福井の方たちの笑顔に迎えられました^^。

■オープニングは、はぐるま太鼓（1977年福井県武生市で結成）の演奏でした。他の授業の関係でビデオ演奏になったとのこと。ビデオからも十分に迫力が伝わってきただけに、次は、ぜひ生で聴きたいと思いました。

■パネルディスカッションでは、福井から、弁護士、フリースクール、CAPのほか、富山の「子どもの権利支援センターぱれっと」から高校生が参加し、それぞれ活動紹介をしました。いじめについてきかれると、富山の高校生は、「まずは、子ども同士で解決するのがいちばんいい。大人に相談すると、そのことを大人が取り上げてしまう場合がある」と話してくれました。フロアの多田弁護士からの発言は、「子どもの世界におきる問題を自分たちで解決する力を育てるような環境づくりが大人の役割である」と、高校生の発言に捕捉し、理解を深めるための考え方を示していただいたように思います。あらためて私たち大人の役割を痛感しました。

■その後の分散会では、1グループ10名という単位だったこともあり、膝つきあわせて話しやすい雰囲気だったのが良かったです。私のいたグループは、年齢層の幅が広く、その中でも中学生の発言（下記参照ください）は、私たち大人への示唆に富み、印象的で、とても心に残りました。学び多き時間と空間に居られたことに感謝です。

- ・子どもの声をきかないで、なんでも変えるのはやめてほしい。
- ・わかってくれる大人とは、話をきいてくれる大人のこと。
- ・大人の親切心からくる言葉や関わりは辛い。
- ・一人、わかってくれる人がいると心の助けになる。
- ・学校ってなんのためにあるんですか、勉強するためだけなら僕はいらなかな。
- ・学校は人間性を学ぶためと思う。

実に  
深いなあ！

「人とは何か……哲学からうまれたのが“教育”だよ」・・・さすが博識な大人の弁！

### ■分科会（第4）『子育ての悩みを語り合しましょう』

はじめに、小児科の坂後医師が、「幼児期から思春期までの子どもの問題と援助」と題し、昭和前半までの子育ては？/今どきの子育て/～3歳児：『イヤイヤ期』『第一反抗期』/不登校・引きこもりと家庭内暴力（DV）、など、11の観点でお話しされました。その後、参加者が自由に意見をだしあうという構成でした。この分科会に、いじめに遭い、学校のひどい対応で学校にいけなくなった我が子を想い苦しんでいらっしゃる若いご夫婦がおられ、お二人にみなさんから優しい声がび交いました。

“不登校を選んだ子は自立している”という言葉に  
ホッとしたという参加者からの感想が印象的でした。

2011年に石川で産声をあげたこの会は、北陸3県を巡り巡って2周しました。準備のプロセスの中で、新たな人や団体との出会いやご縁に感動しています。顔の見える関係の中で、子どもたちが安心して過ごす環境を保障していくために、これからもつながりあっていけると良いと思います。



## H28年度金沢市 DV 防止啓発事業

### DV にさらされた子どもたちの回復について ～すべての子どもが希望をもちながら大人になれるように～

2016年11月13日（日）  
金沢市教育プラザ富樫  
講師：松本和子氏  
(NPO 法人女性ネット Saya - Saya 代表)

2000年から心理教育プログラムや就労支援など、多面的に被害女性と子どもの支援をされている講師のお話は、子ども夢フォーラムの活動に通じるものがあり、興味深く拝聴させていただきました。様々な方向から学びを深めることの必要性をあらためて感じました。

◇はじめに、子どもへの虐待が後を絶たない、その背景にあるDV（ドメスティックバイオレンス）について、日本にある関連法を時系列で示しながらお話させていただきました。当然のことですが、法律は、人々へのその国の価値観を如実に表しているものだと実感しました。（リベラルな視点で創られたか否かの影響は大であることも実感）

◇その後、「DVの子どもへの影響」「回復に向けてDV被害を受けた子どもへの二次加害のない支援について」などの視点でお話しされました。

DVは、子どもへの児童虐待でもあると位置づけられるなど、そのメカニズムを知ることで、子ども達への影響が思った以上に大きい事が分かってきた昨今、ほとんどが外からは判断できないことだけに、子どもたちの声に潜む背景を想像する力を養わなくてはと思います。誰もがもっているかもしれないインナーチャイルド（傷ついた子ども）と折り合いをつけながら生きているのは人のご縁によってではないでしょうか。だれかの一人になれるといいな^^。

「親子断絶防止法案」の成立にむけた動きがあります。  
「これは、DV家庭の子どもにとっては危機！  
せつかく離れても、終わりのない「力と支配」の関係におかれるということにほかなりません。  
情緒的な視点のみで成立させることの危うさを危惧しています。」



下の表からは、日本の子どもは諸外国に比べて自己肯定感が低いことがわかります。真摯にうけとめ、「自分は生きていいんだ」「自分には存在価値があるんだ」と思える関わりを、今一度、工夫する必要を感じます。

	アメリカ	イギリス	韓国	ドイツ	フランス	スウェーデン	日本
自分に満足している	86.0	83.1	71.5	80.9	82.7	74.7	45.8
自分には長所がある	93.1	89.6	75.0	92.3	91.4	73.5	68.9

参考：H26 子ども若者白書より



## ごあんない

子どもを取り巻く現状を知る機会です。  
皆様と学び合えればと思います。

子どもたちの体と心の危機

子どもは情報を選べない？！

あふれるメディアと  
どう付き合えばよいのか

子どもと決めておきたい  
使い方のルール

“メディア漬け”は  
生活習慣から依存習慣へ

メールによる被害も頻発、低年齢化している昨今、ネット社会の現状を知り、対策を考える機会になればと思います。企画しました。保護者はもちろん、保育・教育・行政など、分野からのご参加をお待ちしています。詳しくは、同封のチラシをご参照ください。定員に限りがございますので、お早めにお申込みをお願いします。